競 技 注 意 事 項

1　競技規則について

本大会は、2019 年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会の申し合わせ事項によって行う。

2　競技場の使用について

（1）ウォームアップ場は、パロマ瑞穂北陸上競技場・レクリエーション広場とする。ただし、棒高跳・砲丸投の練習については、競技開始前に各ピットで競技役員の指示によって行う。
また，各練習場の練習については以下を原則とするが、状況などにより変更する場合もある。競技役員の指示に従うこと。
・トラック（スターティングブロック・ハードル)、走高跳、走幅跳ピットとする。
・トラックの使用レーンは次の通りとする。
１・２レーン：中長距離・周回レーン
３～６レーン：短距離・リレーレーン
７・８レーン：ハードルレーン
・投てき物を使った練習は禁止する。

（2）本競技場のトラックは、出場競技者に限り、大会準備に支障のない範囲で、28 日（日）は８：１５まで、29 日（月）は８：３０まで使用できる。

（3）パロマ瑞穂スタジアム並びにパロマ瑞穂北陸上競技場は全天候舗装なのでスパイクの長さは９㎜以内とする。ただし、走高跳は 12 ㎜以内とする。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は４㎜四方の寸法に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクの数は 11 本以内とする。（競技規則第 143 条２・３・４・５・６参照）

（4）更衣は、パロマ瑞穂スタジアム１階更衣室を利用する。更衣のみに利用し、荷物は置かないこと。また、貴重品は各自で管理すること。

（5）救護本部はパロマ瑞穂スタジアム内１階医務室に設置する。

（6）雨天走路については危険防止のため、雨天時以外の使用を禁止する。使用を許可する場合は放送で連絡する。

3　競技者の招集について

（1）招集所は 100 ｍスタート地点外側の選手ホールに設ける。

（2）招集完了時刻は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30 分前	20 分前
フィールド競技	40 分前	30 分前
混成競技	最初の種目：上記該当種目と同様 ２種目目以降：トラック 15 分前現地 フィールド 20 分前現地	

（3）　招集の手順

①競技者は招集完了時刻までに招集所に集合し、点呼を受けること。その際、競技役員にナンバーカード（ビブス）確認を受ける。準決勝、決勝はすべて競技役員の誘導に従って入場すること。（予選は誘導しない。また、携帯電話や通信機器および音楽再生機器等は持ち込めない）

②他の種目に出場しているなど特別な事由がある場合は、本人による２種目同時招集（先に招集を行う種目の招集時に、もう１種目の招集を行う）を認めるので、競技者係に申し出ること。

③招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。

④四種競技者は、最初の種目のみ招集所で（３）の①に従い競技者係の点呼を受ける。２番目の種目からは、現地で混成競技係の点呼を受けること。なお、フィールド種目は、競技開始時刻の 20 分前まで、トラック競技は、競技開始時刻の 15 分前までに現地に集合すること。

（4）２種目を同時に出場する競技者は、当該競技審判主任の判断により、フィールド競技について試技順を変更することができる。試技順を変更しても試技時間に間に合わなかった場合は，無効試技とみなす。

4　競技運営について

（1）競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。
（2）予選におけるトラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、主催者が公平に抽選し、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の準決勝以降とフィールド競技の決勝については、主催者が公平に抽選し、その結果を番組編成掲示板に掲示する。
（3）レーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンはあける。
（4）計時方法は写真判定(1/100 秒）とする。
（5）タイムによる決勝進出者の決定について、同記録（1000 分の 1）があり、レーン数が不足するときは、抽選（競技規則第 167 条）を行う。抽選は、番組編成員が該当者をアナウンスにより招集して行う。該当者は、アナウンスより 10 分以内に本部へ集合する。進出決定者の発表は、アナウンス・大型映像およびスタンド正面階段上の掲示板で行う。
（6）２組３着＋２で行なう準決勝は、＋２は各組４・５着のうち上位２名（チーム）とする。ただし、同記録の場合、写真判定で着差があれば着順を決定する。着差がない場合は該当者の抽選により進出者を決定する。
また、異なる組の中で４着と５着が同タイムの場合は、４着の競技者（チーム）を優先する。
（7）本競技会は、不正スタート１回失格を適用する競技会として実施する。（競技規則 162 条６）
ただし，男女四種競技においては，各レースでの不正スタートは１回のみとし，その後に不正スタートした競技者は，すべて失格とする。（競技規則 162 条７、および 200 条８ｃを適用）
（8）スタートの合図は英語とする。（「On　Your　Marks」「Set」）
（9）リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの招集完了時刻１時間前までに競技者係に提出すること。メンバー変更については、競技規則 170 条 10 の項を適用する。なお、用紙は招集所で用意する。
（10）リレーのすべてのラウンドにおいて、リレー申し込みの有無にかかわらず、低学年・共通リレーのどちらかにしか申し込み及び出場することはできない。競技規則 170 条 10 項に該当するメンバー外の選手が出場する場合も同様とする。
なお、それぞれのリレーに申し込みのあった６名以内の競技者は、申し込みをしたリレーにしか出場できない。
（11）リレー競技においては、同一ユニフォームを着用する。
（12）リレー競技のマーカーの使用は１ヶ所とする。また、マーカーは主催者側が用意し、審判員が配付する。また、各チームが用意したマーカーを使用してもよい。（競技規則第 170 条４の項を適用）
ただし、使用したマーカーはそのチームで処理すること。
（13）短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
（14）男子 3000m はグループスタートとする。
（15）走高跳、走幅跳の予選については、２ピットで行う（日程参照)。ただし、競技場の条件、出場人数によっては、１ピットで行う場合もある。
（16）競技場での競技前の跳躍・投てき練習は競技役員の指示によって行うこと。
（17）競技者に対する助力については、競技規則第 144 条２の項を適用する。

5　競技場の入退場について

（1）準決勝、決勝の入場は競技役員の誘導に従って入場する。（予選は誘導しない）
（2）　退場は下記による。
①　トラック種目：　走り終わった者は 100m フィニッシュ側退場口から競技場１階中通路または２階雨天走路を通って退場する。
②　リレー種目およびフィールド種目：　競技役員の指示に従って退場する。
なお、いずれの場合においても、１階中通路を通って退場する場合は、必ずスパイクシューズを脱いで通行すること。
（3）フィールド競技の競技者は、競技役員の指示に従って退場すること。

6　ナンバーカード（ビブス）について

（1）ナンバーカード（ビブス）は配付されたままの大きさでユニフォームの胸・背部に確実につける。
なお、跳躍種目（四種競技の走高跳含む）の競技者は、背部または胸部のみでもよい。
（2）トラック競技に出場する競技者は、招集時に腰ナンバーカード（ビブス）標識を貸与する。ランニングパンツ左右の上部やや後方につけること。（招集時に受け取り、終了後は直ちに係に返却する。）

7　予選通過標準記録について

フィールド競技の予選通過標準記録は次のとおりとする。

	走高跳	棒高跳	走幅跳	砲丸投
男　子	１ｍ８５	４ｍ００	６ｍ５５	１３ｍ００
女　子	１ｍ６０	－	５ｍ４５	１２ｍ５０

上記の種目で予選通過標準記録を超えた者が１２名に満たなかった場合、決勝進出者は予選成績により追加補充される。同記録の競技者は、競技規則第 180 条 22、第 181 条８を適用する。
なお、予選通過標準記録は、天候その他特別な状況が生じた場合に限り、当該審判長の判断により変更されることがある。

8　走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

（1）　予選

	練習	1	2	3	4	5
男子走高跳	1.60/1.75	１．６５	１．７０	１．７５	１．８０	１．８５
女子走高跳	1.35/1.50	１．４０	１．４５	１．５０	１．５５	１．６０
男子棒高跳	3.00/3.60	３．２０	３．４０	３．６０	３．８０	４．００

①　練習の高さを２段階に設定し、希望により実施できるものとする。

（2）　決勝

	練習	1	2	3	4	5	6	
男子走高跳	1.70/1.79	１．７３	１．７６	１．７９	１．８２	１．８５	１．８８	以降３cm
女子走高跳	1.45/1.54	１．４８	１．５１	１．５４	１．５７	１．６０	１．６３	以降３cm
男子棒高跳	3.20/3.80	３．４０	３．６０	３．８０	３．９０	４．００	４．１０	以降10cm
男子四種走高跳	1.35/1.50	１．４０	１．４５	１．５０	１．５５	１．５８	１．６１	以降３cm
女子四種走高跳	1.20/1.35	１．２０	１．２５	１．３０	１．３５	１．３８	１．４１	以降３cm

①　走高跳・棒高跳は、最後の１人になり優勝が決まるまでは、上表の上げ幅を変えてはならない。
②　第１位、東海中学総体出場者を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳で２㎝、棒高跳で５㎝きざみとする。
③　練習の高さを２段階に設定し、希望により実施できるものとする。

9　用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者側が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールに限り個人所有のものを使用することができる。

10　表彰について

（1）各種目の表彰は、競技終了後に行う。８位までの入賞者は競技役員の指示に従い、表彰控室で待機すること。ただし，リレー種目との重なりがある場合は，代理人による表彰を認めるので，表彰係まで申し出ること。
（2）各種目（OP 四種競技含む）の第１位に賞状・優勝バッチ、第２位から第８位までに賞状を授与する。
（3）総合の部優勝校に賞状・優勝旗・盾を授与する。準優勝校に賞状・盾を授与する。第３位の学校に賞状を授与する。
（4）上記（2）については、各競技終了後の種目表彰の中で、（3）については閉会式の中で行う。

11　商標について（詳細は「競技会における広告及び展示物に関する規定」による）

（１）競技場内に商標名の付いた衣類・バッグ等を持ち込む場合、以下の規定を守ること。

①上半身の衣類・・・製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積 30 ｃ㎡以内、文字は縦４㎝以内、ロゴ全体で縦５㎝以内とする。製造会社の表示は１ヶ所のみとする。ただし、トレーニングウエア上衣、Ｔシャツ、トレーナー、レインジャケットの製造会社名／ロゴ面積は 40 ｃ㎡以内とする。

②下半身の衣類・・・製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積 20 ｃ㎡以内の長方形、文字は縦４㎝以内のものを１ヶ所とする。

③バッグ　　・・・製造会社のロゴは、２ヶ所に取り付けることができる。それぞれの面積は 25 ｃ㎡以内のものとする。

（２）競技役員に指摘された場合はその指示に従う。

12　閉会式について

７月２９日（月）競技終了後に引き続き行うので、競技場内に整列する。なお、雨天の場合は、競技場メインスタンドにて行う。

13　その他

（１）記録の発表について

アナウンスと大型映像装置で発表する。また，記録掲示板への掲示も行う。

なお，記録発表のアナウンスが行われた時刻を正式発表の時間とする。

（２）応援について

①競技の妨げになるような応援は禁止する。担当役員の指示に従うこと。

②メインスタンドでの集団応援は禁止する。

③フィールド競技進行中は，メガホンなどを使用した応援や，集団応援は禁止する。

（３）応援横幕・のぼり旗などの設置は次の通りとする。

①応援横幕（各校１枚）は、メインスタンド最上段・両サイドの手すり及びバックスタンド・サイドスタンドの手すり（競技場に面した部分は除く）に取り付けること。のぼり旗（各校３本）は、バックスタンド・サイドスタンドの手すり（競技場に面した部分は除く）に取り付けること。

②設置については、必ずロープを使用して確実に固定すること。

③個人名を書いた応援横幕・のぼり旗などは許可しない。

④設置期間は競技期間中とする。事故等については設置した管理者が一切の責任を負う。設置順の抽選は行わない。

（４）パロマ瑞穂スタジアム内のテント及びシートの設置については、指定された区域のみとする。（シート固定のテープは養生テープのみとする。）

また、競技場周辺およびパロマ瑞穂北陸上競技場内のテント・シート設置は禁止する。

なお、競技場２階（雨天走路ボックス席および隣接する場所）、３階の場所割りについては別掲の「スタンド裏分割図」および地区運動部員から示された場所を厳守すること。

（５）ゴミは各自持ち帰りを原則とする。

本大会の清掃当番校は、２８日（日）　長良　中学校　と　守山西　中学校

２９日（月）　大高　中学校　と　扇台　中学校　とする。

競技・閉会式終了後、本部前へ集合すること。

◆競技者の人権保護の観点から，
写真･ビデオ撮影について，以下の点にご協力ください。

観客席からの撮影制限について

① 観客席での撮影禁止をさせていただくエリアは下記の席です。
- ・各種目のスタート後方
- ・走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳の助走後方・着地前方
- ・走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）

② 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

③ 競技者がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っていたりする間や体を動かしているなど準備の行動の撮影は禁止します。

④ 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡をとらせていただきます。